

神岡極稀現象研究拠点 2026 年度 KERNEL 共同利用共同研究公募

神岡極稀現象研究拠点
拠点長 井上邦雄

神岡極稀現象研究拠点（KERNEL）では、極稀現象研究の国際的な展開および発展につながる研究活動を支援するため、共同利用共同研究課題を公募いたします。皆様からの多数のご応募を歓迎いたします。

神岡極稀現象研究拠点共同利用共同研究応募要項

1. 公募目的

- I. 神岡極稀現象研究拠点（KERNEL）は、極低放射能環境および極低放射能技術を駆使し、未解明の物理法則による極めて稀な現象を探索する研究を推進します。本公募では、極稀現象研究の国際的な展開および発展につながる研究活動支援の一環として、拠点と共同で実施する研究課題を支援します。

2. 公募項目

- I. 本公募では、下記のいずれかの項目に該当する共同利用共同研究課題を募集します。
 - ① 地下実験室で実施する極稀現象研究
 - ② そのほか、広い意味での極稀現象研究

3. 実施期間

- I. 申請区分「施設・機器等利用型」につきましては、2026 年度実施の研究課題を公募いたします。実施期間は、採択日から 2027 年 3 月 31 日までとします。
- II. 申請区分「研究課題提案型」につきましては、複数年にまたがる課題の応募も受け付けます。

4. 申請方法

- I. 下記フォームより申請してください。
 - ① <https://forms.gle/DS514a9yKCiBTJ1z9>
- II. Google フォームには、下記の事項を入力してください。

① 申請者情報

- 申請者氏名、所属、電話番号、メールアドレスを記載してください。

② 研究課題名

- 研究内容がわかるタイトルとしてください。

③ 継続状況

- 本公募は KERNEL 共同利用共同研究の初回公募のため、新規課題のみとなります。

④ 研究項目

- 本申請が該当する研究項目として、下記のいずれかを選択してください。
 - ✧ 地下実験室で実施する極稀現象研究
 - ✧ そのほか、広い意味での極稀現象研究

⑤ 申請区分

- 下記のいずれかを選択してください。
 - ✧ 研究課題提案型
 - 拠点と共同で実施する研究課題を提案する場合は、こちらを選択してください。
 - 原則として、ヒアリング審査を行います。
 - 次年度以降も継続して KERNEL 地下実験室エリアの専有的な使用を希望する場合は、こちらを選択してください。
 - KERNEL 地下実験室エリアへ線源・危険物など法令上の規制対象となる物品の持ち込みを予定している場合は、事前にコンタクトパーソンに相談してください。
 - ✧ 施設・機器等利用型
 - 4. II ⑩に挙げる施設・機器等の利用のみを希望する場合は、こちらを選択してください。
 - 4. II ⑩に含まれない施設・機器等の使用を希望する場合は、コンタクトパーソンに相談したうえで、こちらを選択してください。

⑥ 参加研究者リスト

- テンプレートファイルを使用して記載してください。
- 研究課題責任者氏名（氏名、身分、メールアドレス、所属）、参加研

究者氏名（氏名、身分、メールアドレス、所属）について記載してください。

- 参加研究者リストの1番目は、研究課題責任者としてください。

⑦ コンタクトパーソン

- 参加研究者に KERNEL 教員が含まれている場合は、その教員をコンタクトパーソンに指定してください。
- 参加研究者に KERNEL 教員が含まれていない場合は、下記サイトから KERNEL 教員を確認し、コンタクトパーソンとして指定してください。

◇ <https://www.lowbg.org/kernel/aboutKERNEL.html#link4>

- 申請者からの指定がない場合は、本拠点にて指定します。

⑧ 研究概要

- テンプレートファイルを使用して記載してください。

⑨ 包含する研究課題のリストがある場合は、研究課題・メンバーリストを提出してください。

- テンプレートファイルを使用して記載してください。

⑩ 使用希望施設・機器等について

- KERNEL が保有する施設・機器等の使用希望がある場合は、チェックを入れてください。

◇ Ge 半導体検出器等微量分析装置の使用を希望しますか。

◇ 坑内ネットワークの使用を希望しますか。

- 坑内では eduroam を使用することができます。それ以外のネットワークを必要とするかをお答えください。

◇ 坑内車両の使用を希望しますか。

- 坑内車両の使用は、坑内運転免許を所持している研究者に限ります。別途、坑内車両使用申請書の提出が必要です。

◇ 純水/純空気（ラドンフリーエア）の使用を希望しますか。

⑪ その他の希望支援内容および施設・機器等の使用計画

- 地下実験室スペースの使用や旅費・消耗品費等の実費支援を含めて、希望する支援についての情報を記載してください。
- 4. II ⑩で選択した施設・機器等の希望使用頻度等の情報についても、記載してください。
- 4. II ⑩に含まれない施設・機器等の希望がある場合は、その施設・

機器等の情報を記載してください。

5. 申込締切日と審査

I. 申込締切日

① 2026 年 9 月 4 日（金）

- 次回の共同利用共同研究課題審査は 9 月の専門委員会にて行う予定です。

II. 審査等について

- ① 今回応募いただいた研究課題については、極稀現象研究拠点研究専門委員会および技術専門委員会にて学術的意義や実現可能性等を考慮のうえ、採否を決定いたします。
- ② 前項 4. II ⑤で「研究課題提案型」を選択された場合、原則として、ヒアリング審査を行います。
- ③ 前項 4. II ⑪で記載された希望支援内容によっては、ヒアリング審査を行う場合があります。
- ④ 申請書提出後、1 か月程度を目途に、別途審査の必要性について連絡いたします。
- ⑤ Ge 半導体検出器等微量分析装置や坑内車両など、拠点が保有する機器等の使用には、別途使用申請書を提出していただきます。

6. 問い合わせ先

I. KERNEL 事務局

- ① E-mail: kernel-info@lowbg.org

7. その他

- I. 本支援は、採択課題に対して研究費を配分または移管するものではありません。拠点が必要性および実施可能性を認めた場合に限り、液体窒素等の消耗品、装置運転、試料利用、神岡への旅費の一部補助等について、拠点側での購入手配または実費支出により支援する場合があります。支援の内容・金額については、課題採択後に個別に調整します。
- II. 研究課題が採択された際には、別途、共同利用参加申請書および参加研究者リストを提出してください。
- III. 課題採択後、安全保障輸出管理に関する手続きを行います。参加不可、または条件付きでの参加となる場合があります。
- IV. 採択された研究課題は KERNEL ホームページ内にて公表します。
- V. 共同研究の成果を論文で発表する際は、当該論文の謝辞

(acknowledgements) の欄に、極稀現象研究拠点共同利用共同研究に採択された課題である旨を明示してください。

VI. 成果報告

- ① 研究期間終了後に報告書を提出していただきます。
- ② 別途、成果報告会等で発表していただく場合があります。